



令和4年2月10日

各位

会社名 株式会社ハーバー研究所
代表者名 代表取締役社長 宮崎一成
(コード番号: 4925)
問合せ先 取締役財務・経理部担当 梅蔭武
(TEL. 03-5296-6250)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年5月11日に公表いたしました令和4年3月期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想40円の変更は予定しておりません。

記

1. 令和4年3月期の通期連結業績予想数値の修正（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,200	670	670	540	142.80
今回修正予想（B）	13,100	△380	△360	△380	△100.49
増減額（B－A）	△2,100	△1,050	△1,030	△920	－
増減率（％）	△13.8	－	－	－	－
（参考）前期連結実績（令和3年3月期）	14,307	226	250	216	57.23

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期通期連結業績予想については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 修正の理由

日本国内における新型コロナウイルス感染症の再拡大により、2021年9月まで緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出、度重なる期間延長がなされ経済活動の制約等により消費マインドの冷え込みが長期化しました。2021年10月より緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全国的に解除され、消費活動の回復が期待されましたが、国外で新たな変異株の感染が拡大し、現在は国内でもその影響を受けており、消費マインドの冷え込みは今もなお続いております。また、当第3四半期累計期間におきまして、戦略的な店舗展開における店舗の撤退等による特別損失が発生しております。これらの結果、当初の業績予想から売上高及び利益が大幅に減少する見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上